

2018-01

2018. 4. 26

「阪急阪神ホールディングスグループ 健康宣言」を制定

阪急阪神ホールディングスグループは、健康経営を推進するため、このたび「阪急阪神ホールディングスグループ 健康宣言」を制定しました。

当社グループでは、経営理念において「人の尊重」を大切な価値観とし、従業員やその家族の健康がグループの豊かな未来の礎であると考えてまいりました。この健康宣言は、「健康経営」という視点から、従業員やその家族の健康に対する認識を明確にすることにより、一人ひとりの健康意識の向上と働きやすい職場の実現を推進するために制定したものです。

今後は、「阪急阪神ホールディングスグループ 健康宣言」に基づき、従業員やその家族の健康増進のために、グループ会社においても健康経営に取り組んでまいります。

阪急阪神ホールディングスグループ 健康宣言

阪急阪神ホールディングスグループでは、従業員やその家族の心身の「健康」が、幸せの源泉であるとともに、グループの豊かな未来の礎であると考えています。また、お客様に「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けするためには、みんなが健康で多様な個性や能力を最大限に発揮することが何よりも大切です。

これを実現するために、私たちは自らの健康に高い意識を持ち、職場の仲間や家族とともに健康づくりに取り組みます。

ここに阪急阪神ホールディングスグループは、「阪急阪神 Wellness チャレンジ」をスローガンに、一人ひとりの健康づくりを積極的に支援するとともに、生き活きと働くことができる職場環境づくりに努めることを宣言します。

2018年4月

阪急阪神ホールディングス株式会社

代表取締役社長 健康経営推進責任者

杉山 健博

■「阪急阪神 Wellness チャレンジ」の重点施策方針

【カラダの健康】

- ・各自の健康意識の向上
- ・運動や食生活など、生活習慣の改善
- ・定期健診受診の徹底（家族を含む）
- ・生活習慣病の予防、特定保健指導の実施
- ・有所見者の精密検査受診、要治療者の治療継続の徹底
- ・がんの早期発見対策
- ・卒煙の促進

【ココロの健康】

- ・ストレスチェックの実施
- ・メンタルヘルス教育の実施
- ・休業者や職場復帰者の体制整備

【職場の健康】

- ・労働時間の適正化によるワークライフバランスの確保
- ・活力と一体感のある職場づくり
- ・受動喫煙対策の実施

以上